

毎日新聞をご愛読いただきありがとうございます



とうぶ
まいにち

4月16日(日)は新聞製作が休みのため

17日(月)の朝刊は

4月16日(日曜日)
2023年(令和5年)

休ませていただきます

発行元
埼玉中部毎日会第3支部
発行所
埼玉県越谷市宮前1-5-19
(毎日新聞越谷東部販売所内)
TEL 048-967-4515
FAX 048-967-4516
編集長 飯嶋英好
発行部数 50,000部
発行エリア
三郷市・草加市・八潮市
吉川市・越谷市・松伏町

毎日小学生新聞 スポニチ も休ませていただきます

なお、スポニチは主要駅の売店などで販売しています

★ニュース速報は、毎日新聞のニュースサイトでご覧いただけます
URL: <https://mainichi.jp/>

4月17日のテレビ・ラジオ番組欄は16日の朝刊に掲載します

毎日新聞社・毎日新聞販売所

次号5月は
14日(日)
発行予定



仕事に励むリサさん(手前)と世話役の内田有里奈さん=草加商工会議所で4月4日

異国で新たな門出 夢育む若者たち

ミャンマー難民 草加の地で就労スタート

4月 草加商工会議所支援

新たな旅立ちの春、混乱のミャンマーを逃れた若者たちが草加、八潮市の企業に就職、異国の地で新たな人生をスタートさせた。第三国定住難民として昨年9月に来日した20歳代~30歳代の単身者ばかり11人。

「地域の中小企業が力を合わせれば、国際貢献ができるのではないか」。草加商工会議所の野崎友義会頭の呼びかけに製造、流通、サービス業関連の会員が応諾。全国的に例のない商工会議所挙げての難民受け入れが実現した。

呼びかけ役の商工会議所自らも難民を受け入れることにし、ノル・ハリサ・

ムニル・アフマドさん(28)が4月3日付で着任した。愛称リサさんの職場は中小企業相談所業務第2グループ。来日前、市場調査会社に勤めていたリサさんは英語が堪能で、当面は草加市内企業の外国人をサポートする予定だ。

「まだ先のことですが」と前置きしたリサさん。「商工会議所でシッカリ働き、30歳代半ばくらいにレストラン経営や輸入業を起業したい」と夢を膨らませる。

山崎修専務は「リサさんは明るく、物おじしない人柄。草加の地に慣れ、活躍して欲しい」とエールを送る。



税のよろず相談所です

Life & Company Assist

税理士法人

L&Cアシスト

草加市住吉1-4-12-101

048(924)9244



エネルギーで、快適な未来をつくる

堀川産業株式会社



本社 〒340-0014 草加市住吉1-13-10
<https://www.horikawasangyo.co.jp>



「クルン」

ガス、でんき、灯油、リフォーム、暮らしのご相談はエネクルまで!

市長 県議 市議 「走り抜いた78年」 発行

前越谷市長 高橋努さん



一昨年11月、越谷市長を退任した高橋努さん(79)が郷土愛を捧げて取り組んだ政治家人生を振り返る「走り抜いた78年」(高橋努の歩み)を発

行した。A4版・114冊、1000部(非売品)。県立越ヶ谷高定時制在籍中、役所に勤務。勤労学生として都内の日大法学部二部に通う。振出は、議会事務局。議事録を作成したり議員との交遊から「行政とは、地方自治とは」を体験として学ぶ。この体験が市議6期、県議4期、市長3期の46年6か月に及ぶ政治家人生を支える。地元荻島地区の人々、職組も「助言を添えた。仲間との絆を大事にする誠実さ。加えて真摯に取り組み行政への姿勢が、各種選挙で無敗を誇る結果を示す。書物は、高橋さんの半世紀に及ぶ業績などを年表、カラー写真をふんだんに載せ、一目で分かるよう工夫。」「みなさんから支えられた人生。感謝の想いを込めて発行した」と高橋さん。「私の選挙哲学十五条」は現職議員に参考になるか

ふらり秩父路 秩父ミュージズパーク

2023・04・16

を隔てた広い駐車場に車を止め、めカメヲを肩から下げ歩き始めた。盆地を分断するように延びる長尾根丘陵に造成された公園の中心を南北に走る

山里に春が訪れた。盆地の寒さに散歩もままならず肩をすぼめていた秩父人が待ち望んでいた季節の到来だ。ほほを撫でるそよ風に誘われて郊外に広がる「秩父ミュージズパーク」に出かけてみた。この公園は県と秩父市、西武鉄道が協力して整備した施設で、一九九一年に完成した。広さは約二七一畝。自慢はテニスコート五二面や野外ステージ、音楽堂、プール、キャンプ場、スカイトレイン、レンタサイクルなど楽しみ方はいろいろ。その中でも豊かな自然に囲まれた空間が私は大好きだ。

咲き誇るスイセンセン

秩父ミュージズパークで



空は青く快晴。真っ白なロードは遠く見える山並みを突き刺すように延びている。音もなく赤色のスカイトレインが近づいてきた。乗客数人が手を振っている。警笛代わりの鈴の音を鳴らしてかわい乗り物はスイセン広場の横を通り過ぎて行った。新緑に衣替えるのを待ちわびるイチヨウの枝が春の風に揺れている。クヌギ林もさわさわと春の訪れを歓迎しているようだ。もうすぐ一年で最も美しい新緑の時期。公園南口近くのヘメロカリスの丘に到着。青空を見上げ大きく深呼吸。広大な自然の中の一日を満喫できた。

岡崎 ひろし
(元毎日新聞記者・秩父ネイチャークラブ役員)

「草加でいちばん大切にしたい会社」大賞

市内谷塚仲町 (株) 長谷川製作所

3月25日 草加商工所で表彰式



「草加でいちばん大切にしたい会社大賞」に輝いた長谷川製作所の長谷川義貢代表(中央右)▽特別賞を受賞した高千穂保険事務所の北畠文康代表(右端)と潤製作所の小野良一郎代表(左端) 中央左は野崎友義会頭

草加商工会議所が主催する第3回「草加でいちばん大切にしたい会社大賞」に株式会社長谷川製作所(草加市谷塚仲町)が選ばれ、3月25日開催の表彰式で野崎友義会頭から同社の長谷川義貢代表に賞状が手渡された。特別賞の高千穂保険事務所は「小中学校で保険の話をするなど社会貢献」▽潤製作所は「若手技術者の育成に力を入れ、年収も同業より高い」等が評価された。長は「同社は労働環境がよく、障がい者も積極的に採用している」。「ワンマン時代もあったが、人を大切への方針を切り替えてからよくなり、各審査委員からも高い評価をえた」と講評した。

総合建設業 新築工事 リフォーム 土木工事全般
池中建設株式会社
越谷市東越谷7-141 ☎048-964-3611
<http://www.ikenakakensetsu.co.jp>

ISO9001(品質)/ISO 14001(環境) 認証取得
明日の夢を創る
高元建設株式会社
代表取締役 高橋和彦
〒343-0811 埼玉県越谷市御殿町2番11号 TEL048-966-1661(代)
FAX048-962-1661 ホムページ <http://www.takamoto-cnst.co.jp/>

田舎暮らしNOW

2023・4・16

暖かくなったこの時季、やたらと目にするのが旅行案内。新聞の全面広告に折り込みチラシ、さらには旅行会社から届くパンフレットが旅へと誘っている。昨年までは、ほとんど目に触れることはなかったのだが、やはりコロナが収束してきた結果なのだろうか、一挙に増えた気がする。

北海道旅行や東北、北陸といった大分県から遠い距離の観光地を案内するものもあれば、近畿や中国地方を対象とした中距離の旅行案内もある。もちろん関東圏に誘うものもあり、こちらは東京や神奈川などの首都圏をはじめ、群馬、長野の温泉地を巡るツアーも用意されている。残念ながら、埼玉県内の観光地を紹介するものはない。当然か。

遠い発着地

最大の障害が発着地。というのは、家に届くパンフレットも折り込みチラシも、殆どが鉄道なら福岡県の博多や小倉が発着地で、飛行機利用となれば福岡空港か北九州空港。どんなに行きたいなと思っても、さすがに博多や小倉からの出発と

全国旅行支援で、割引や買い物クーポン券が付き、お得感を抱かせる旅行パンフレット。見るたびに「あ、行きたいなあ、と思うのだが、田舎暮らしにとっては、簡単には決断できず、惜しみつつ新聞整理袋へ、さようなら。」



行きたくても行けない旅行案内

なぜなら、別府から行くとなると、まず始発電車に乗っても、出発当日の集合時間には、間に合わない。どうしても行くとなれば、前日に別府を出て、博多なり小倉市内に前泊。旅行終了時には、恐らく疲れて、またホテルに後泊となるのが落ちだろう。旅行代金に加え、余計な出費が増えることになり、日常の暮らしに支障をきたすのは明らかだ。

よって、別府から九州の海を越えて行く旅行は、諦めなければならぬのである。結局、旅行となると別府や大分市内を発着地とするバス旅行が関の山で、主に日帰りバスツアーに参加して満足させている。

本当に田舎暮らしには制約が多すぎ、都会育ちの移住者には、我慢と諦めが求められるのだ。

鈴木 源柱(専業主夫・フリーライター)



ドネルド・キーン先生顕彰碑の除幕に臨む今井宏氏=昨年7月28日撮影

草加市発展の礎を築く

今井宏さん死去

名誉市民 享年81歳



草加市名誉市民で元草加市長、元衆議院議員の今井宏さんが3月3日、誤えん性肺炎のため死去した。

通夜は3月12日午後6時、告別式は13日午前10時から市内瀬崎4の6の36の谷塚斎場で、喪主・長男歩(あゆむ)さんのもとしめやかに執り行われた。

今井さんは市内小中学校卒業後、春日部高に進学。同高野球部では主将、投手

として活躍。早稲田大政経学部(中退)をへて自動車整備会社を起業した。当時、日本は車社会のれい明期にあり、今井さんは率先して県内自動車整備業界の組織づくりを奔走した。

生来の指導力から29歳で草加市議に当選。36歳になると草加市長選に当選、全国で「最年少の市長」として話題に。以来、4期16年間務めた市長時代に最優先に取り組んだのが治水対

策。高度成長期、東京隣接の草加市は乱開発が激しく市内各所で床上・床下の浸水被害が相次ぐ。豪雨がでれば新聞・テレビはこぞって草加市の被害状況を取り上げたほど。

今井さん編著の「知水のすすめ」水を知って水を治める」(昭和60年発行、ぎょうせい版)で触れているように、河川行政の専門家の意見を聞きながら低地に立地した草加市ならで

はの総合治水事業を実施した。例えば綾瀬川改修・排水機場建設、中川と連携した綾瀬川放水路等々。車両が通行していた「草加松原」の付け替えに尽力。後の「おくのほそ道の風景地」国指定に結びつけ、さらに「奥の細道文学賞」創設など、文化面でも多大な足跡を残す。山川百合子市長は「長きにわたり草加市を支えてくださり、心から感謝します」とコメントした。

本郷屋斎場

草加市市民福祉葬(市民限定) 実質0円

別館1日葬(ワンデー) 家族葬 29.9万円(税込)

本館1日葬(ワンデー) 家族葬 49.9万円(税込)

きれいな街づくり

エスシーエス株式会社

代表取締役社長 野崎 友義

埼玉県草加市青柳2-19-10
TEL 048-936-1234
FAX 048-936-3344
URL <http://www.scs-kk.co.jp/>

スライドドア車 食品リサイクル車 一般廃棄物収集運搬車

